

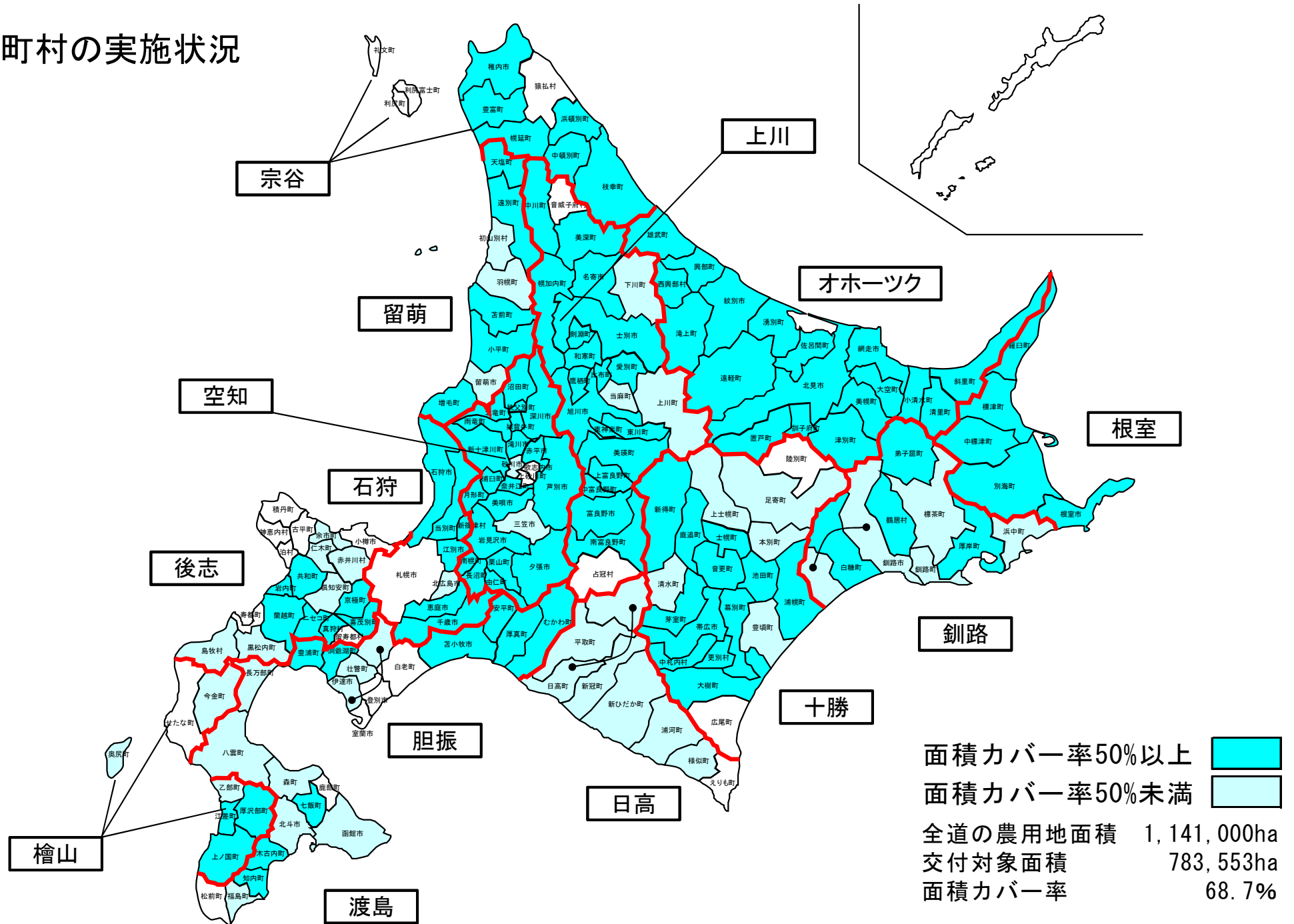
2. 令和5年度多面的機能支払交付金の実施状況について

1 取組市町村数及び活動組織数

- 取組市町村数は153市町村で令和4年度と同数。
- 活動組織数は、日高地域で5組織が新たに活動を開始したため、令和5年度の組織数は719組織となった。

地域	令和4年度実績 (A)					令和5年度実施見込み (B)					増減 (B-A)				
	市町村数	活動組織数	農地維持	資源向上		市町村数	活動組織数	農地維持	資源向上		市町村数	活動組織数	新規	完了	合併
				共同	長寿命化				共同	長寿命化					
空知	22	117	117	114	3	22	117	117	114	3					
石狩	7	42	42	42		7	42	42	42						
後志	13	56	56	56	1	13	56	56	56	2					
胆振	8	33	33	31		8	33	33	31						
日高	5	10	10	7		5	15	15	7		5	5			
渡島	9	39	39	36	1	9	39	39	36	1					
檜山	6	33	33	26		6	33	33	27						
上川	21	109	109	105	2	21	109	109	105	2					
留萌	8	40	40	36		8	40	40	36						
宗谷	6	7	7	3		6	7	7	3						
林-ツ	18	42	42	41		18	42	42	41						
十勝	17	170	170	168		17	170	170	168						
釧路	8	8	8	6		8	8	8	6						
根室	5	8	8	7		5	8	8	7						
計	153	714	714	678	7	153	719	719	679	8	5	5			

2 市町村の実施状況



3 交付対象農用地面積

- 対象農用地面積は783,553haで、令和4年度から1,163haの増加となった。
- 地域別では、新規及び区域拡大により、日高及び上川地域等で増加した一方、区域の見直しにより、オホーツク及び胆振地域等で減少となった。

地域	令和4年度実績 (A)				令和5年度実施見込み (B)				増減 (B-A)			
	交付対象農用地面積 (ha)				交付対象農用地面積 (ha)				交付対象農用地面積 (ha)			
		田	畑	草地		田	畑	草地		田	畑	草地
空知	96,910	84,855	11,606	449	97,050	84,961	11,635	454	140	106	29	5
石狩	28,316	20,542	7,182	592	28,472	20,544	7,336	592	156	2	154	
後志	17,992	6,813	10,368	811	17,993	6,813	10,369	811	1		1	
胆振	21,080	8,195	9,972	2,913	21,000	8,196	9,950	2,855	△ 80	1	△ 22	△ 58
日高	2,533	588	114	1,831	2,791	846	114	1,831	258	258		
渡島	9,149	4,350	2,325	2,474	9,147	4,363	2,320	2,464	△ 2	13	△ 5	△ 10
檜山	4,133	3,508	451	173	4,133	3,508	451	173				
上川	98,237	43,756	44,312	10,169	98,822	44,331	44,431	10,060	585	575	119	△ 109
留萌	19,203	4,957	2,105	12,141	19,216	4,969	2,106	12,141	13	12	1	
宗谷	45,822		127	45,695	45,856		127	45,729	34			34
林-ツ	143,746	2,638	100,002	41,106	143,630	2,638	99,999	40,994	△ 116		△ 3	△ 112
十勝	154,530	15	119,078	35,437	154,627	15	119,243	35,369	97		165	△ 68
釧路	37,273		1,746	35,527	37,350		1,792	35,558	77		46	31
根室	103,465		3,324	100,141	103,465		3,324	100,141				
計	782,390	180,217	312,714	289,460	783,553	181,185	313,197	289,172	1,163	968	483	△ 288

(ha未満四捨五入のため、合計と合致しない場合がある。)

4 交付金額

- 交付金額は、11,959百万円となり、令和4年度から77百万円増額となった。
- 農地維持は、取組面積の増加から27百万円増額となった。
- 資源向上（共同）は、新たに75%単価の適用となる組織で減額となったが、取組面積が増加する組織もあり、8百万円の増額となった。
また、資源向上（長寿命化）は、新たに1組織で取り組み、8百万円の増額となった。
- 加算措置は、「田んぼダム加算」が3町、14組織増となり、28百万円増額となった。

地域	令和4年度実績（A）					令和5年度実施見込み（B）					増減（B-A）				
	交付金額（百万円）					交付金額（百万円）					交付金額（百万円）				
	農地維持	資源向上			長寿命化	農地維持	資源向上			長寿命化	農地維持	資源向上			
共同		加算	長寿命化	共同			加算	長寿命化	共同			加算	長寿命化		
空知	3,513	2,068	1,259	172	14	3,530	2,071	1,261	176	22	17	3	2	4	8
石狩	866	545	321			869	547	322			3	2	1		
後志	404	261	134	8	1	405	261	134	9	1	1			1	
胆振	457	292	155	10		457	292	155	10						
日高	25	17	7			30	23	7			5	6			
渡島	196	122	70	3	1	195	122	69	4	1	△ 1		△ 1	1	
檜山	143	85	55	2		141	85	51	5		△ 2		△ 4	3	
上川	2,323	1,463	769	88	4	2,372	1,477	779	113	3	49	14	10	25	△ 1
留萌	238	151	83	4		238	151	83	4						
宗谷	82	61	22			82	61	22							
林-ツク	1,563	1,114	420	29		1,563	1,114	420	29						
十勝	1,724	1,237	461	26		1,727	1,239	462	26		3	2	1		
釧路	98	64	34	1		99	64	34	1		1				
根室	250	163	87			250	163	87							
計	11,882	7,644	3,877	342	19	11,959	7,671	3,885	376	27	77	27	8	34	8

（百万円未満四捨五入のため、合計と合致しない場合がある。）

※加算措置増減内訳

加算措置名	R 4			R 5			増減		
	市町村数	活動組織数	交付金額(百万円)	市町村数	活動組織数	交付金額(百万円)	市町村数	活動組織数	交付金額(百万円)
多面的機能増進加算	43	170	248	44	179	254	1	9	6
農村協働力深化加算	5	37	28	6	39	29	1	2	1
田んぼダム加算	15	54	65	18	68	93	3	14	28
広域化加算	7	7	1	7	7	1			
計	70	268	342	75	293	376	5	25	34

（百万円未満四捨五入のため、合計と合致しない場合がある。）

5 令和5年度普及・推進活動実施状況

①普及活動

(1) 個別説明会

令和6年度以降に新規取組予定地区のある市町村、現在未取組の市町村を対象に、制度の概要のほか、活動組織設立の手順、活動要件、本交付金で実施が可能な取組内容や注意点について個別説明を実施。

(実施地域)

- 帯広市（令和5年4月、8月）、広尾町（令和5年6月）、北斗市（令和5年10月）、陸別町（令和5年11月）

(2) 日本型直接支払パネル展

農村振興パネル展に出展し、多面的機能支払制度をPR。

- 開催期間 令和5年7月7日（金）、10日（月）
- 会場 道庁本庁舎1階 道民ホール
- 内容 パネルによる本交付金の概要と取組事例の紹介、パンフレット等の配布
- 対象者 一般の方
- 来場者数 約300人

(当日の実施状況)



②推進活動

(1) 事務経理指導説明会

総会の実施状況や会計経理証拠書類の整理状況等、本交付金の執行状況を確認するとともに、必要な指導・助言を活動組織等に行うため開催。

- 開催期間 令和5年4月～令和5年11月
- 市町村 道内22市町村、39組織で実施
- 参集範囲 活動組織の役員、市町村の担当職員、土地改良区、JA 等

(2) 現地意見交換会

令和4年度及び令和5年度に新たに取組を開始した市町村・活動組織等、その他意見交換会の開催を希望する市町村・活動組織等を対象として課題や疑問点を聞き取り、指導・助言を行うための現地意見交換会を開催。

- 開催期間 令和5年6月～令和6年2月
- 市町村 道内32市町村、84組織で実施
- 参集範囲 活動組織の役員、市町村の担当職員、土地改良区、JA 等
- 主な話題
 - ・ 制度概要、具体の活動事例等の説明
 - ・ 事務支援システムの説明
 - ・ 活動組織広域化の推進

(3) 「とんぼの未来・北の里づくり」事例研究会

多面的機能支払交付金事業における効果的な活動事例などの情報収集を行い、各地域の状況に応じた更なる活動の充実・発展を図るために、事例内容について検討を行い、発信等を行うことを目的に平成29年12月に設置。

<メンバー：道、協議会、活動組織構成員、市町村の担当職員、土地改良区 等>

○ 活動状況

①令和5年度第1回事例研究会

- ・開催日 令和5年9月6日（水）
- ・開催場所 駅前ビジネススペース
- ・参加者数 20人
- ・議題 ア) 令和5年度事例研究会行動計画（案）
イ) 令和5年度における現地視察研修の検討 他



②令和5年度事例研究会現地視察研修

- ・開催日 令和5年12月5日（火）～7日（木）
- ・開催場所 栃木県、東京都
- ・参加者数 11人
- ・内容 ア) 栃木県における多面的機能支払交付金事業の取組状況について
イ) 農業・農村の多面的機能の持続発揮に向けた全国シンポジウム 他

③令和5年度第2回事例研究会

- ・開催日 令和6年3月上旬
- ・開催場所 札幌市内
- ・議題 ア) 令和5年度活動報告
イ) 令和6年度事例研究会行動計画（案） 他

(4) 「とんぼの未来・北の里づくり」事例発表会

地域共同による地域資源や農村環境の保安全管理に取り組む活動組織等に対して、地域の特性を生かした効果の高い活動事例の普及・推進を図ることを目的とした全道事例発表会を開催。

- 開催期間 令和6年2月15日(木)
- 開催箇所 ロイトン札幌
- 参加者数 約1,300名(webにより同時配信)
- 内 容 ア) 多面的機能支払交付金の今後の展開方向
イ) 多面的機能支払交付金における円滑な組織運営について
ウ) 事例発表
 「女性組織を中心とした活動再開の取組事例」
 「全国シンポジウムにおける事例」
エ) 機械の安全使用に関する研修



等

(5) 事務経理担当者等会議

道内における不適切な事案の再発防止、多面的機能支払交付金の手引き、実施状況報告書等やR5実施期間が終了する活動組織における留意事項、共同活動における安全管理の徹底など、市町村等の担当者に説明を行うため会議を開催。

- 開催期間 令和5年7月～8月
- 開催箇所 全道15会場で開催
- 参集範囲 市町村の担当者、活動組織の監事を含む役員、事務局の担当者
- 参加者数 約1,100人

(6) 女性参画推進の取組

農家戸数の減少や高齢化が進行する中で活動を継続するには、農業者だけでなく多様な人材の参画の推進が必要であることから、女性の参画を推進するため、活動組織の女性役員及び代表との意見交換、メルマガ投稿を実施。

- 開催日 令和6年1月26日
- 開催場所 中富良野町内（オンラインにより実施）
- 内 容 女性役員及び代表との意見交換、メルマガ投稿記事の作成
 - ・ 活動組織への女性参画について
 - ・ 共同活動等への女性参加の推進について
- 参加者 女性役員2名、代表1名、町職員1名、土地改良区（事務局）1名



(7) 道独自の調査

不正事案を未然に防止するため、国が実施する抽出検査とは別に、道独自の調査を実施。

- 開催期間 令和5年11月～令和6年2月
- 市町村 道内15市町村、15組織で実施
- 調査方法 国の抽出検査に準ずる
- 参集範囲 活動組織の役員、市町村の担当職員、活動組織の事務経理を受託している土地改良区、JA等の担当者 等



③その他

(1) アライグマ捕獲技術等研修会

各(総合)振興局環境生活課が主催する「アライグマ捕獲技術等研修会」から講師依頼があり、多面的機能支払交付金を活用したアライグマ対策等について情報提供を行うため参加。なお、各活動組織には市町村を通じて本研修会の開催を案内。

- 開催期間 令和5年11月、令和6年1月
- 開催箇所 石狩、オホーツク(総合)振興局
- 参集範囲 市町村、活動組織
- 参加者数 約50人
- 研修内容
 - ア) アライグマの生態
 - イ) アライグマによる被害状況
 - ウ) 多面的機能支払交付金を活用したアライグマ対策(講師として参加)
 - エ) アライグマ捕獲技術 他

(2) 「農業農村ふれあいフェスタin赤れんが」

道協議会のブースを設置して、来場者へ多面的機能支払制度をPR。

- 開催日 令和5年9月30日(土)
- 会場 道庁赤れんが庁舎前
- 内容
 - ・パネルによる本交付金の概要と取組事例の紹介
 - ・パンフレット等の配布
 - ・とんぼビーズづくり
- 対象者 一般の方
- 来場者数 約6,000人



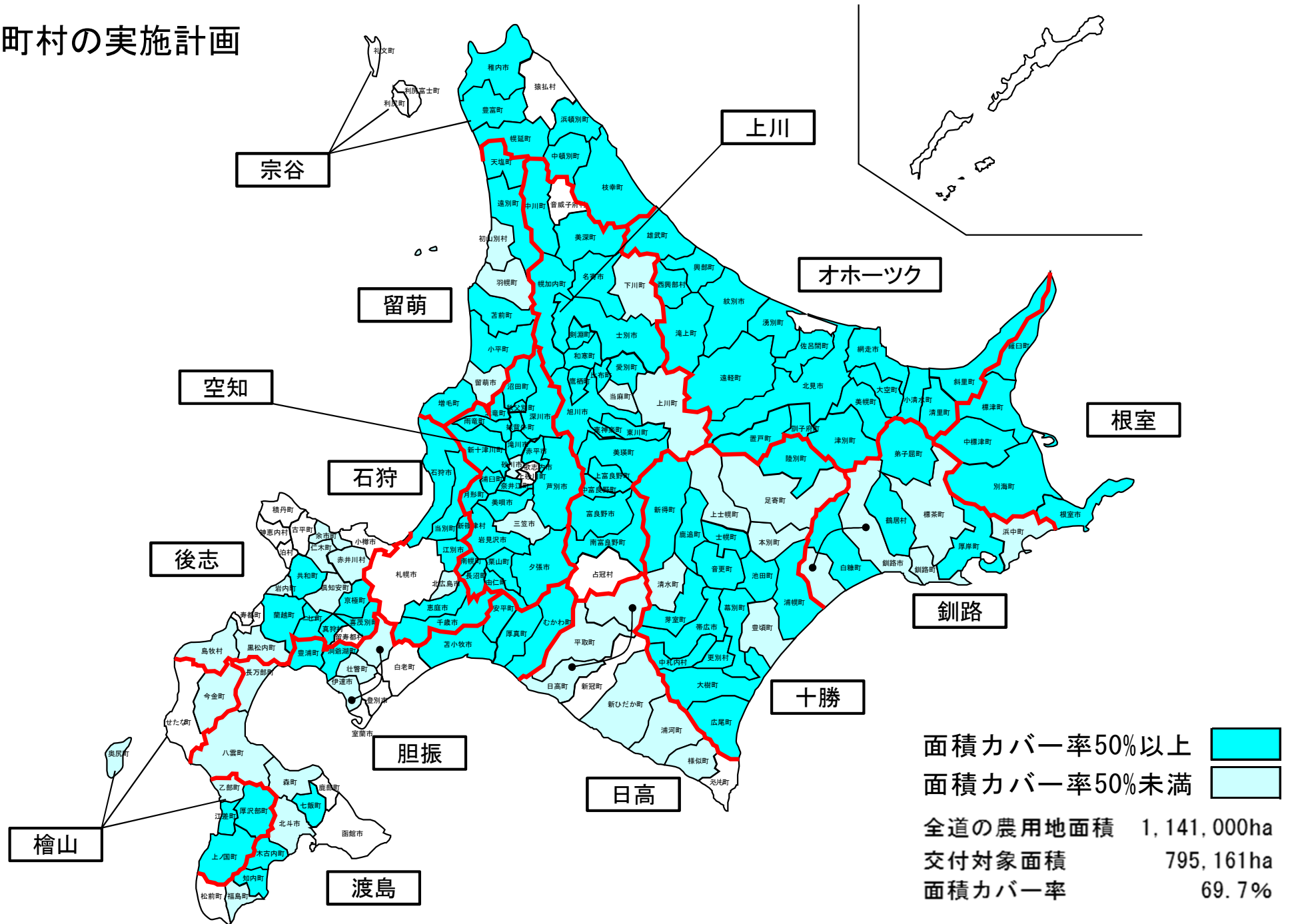
3. 令和6年度多面的機能支払交付金の実施計画について

1 取組市町村数及び活動組織数

- 取組市町村数は、函館市で活動を終了するが、広尾町及び陸別町で新たに活動を開始する予定のため、154市町村となる。
- 活動組織数は、胆振及び上川地域で各1組織の減、日高地域で1組織が新たに活動を開始する予定。また、空知地域で広域化により6組織減少するため、令和6年度の組織数は712組織となる。

地域	令和5年度実施見込み (A)					令和6年度計画 (B)					増減 (B-A)				
	市町村数	活動組織数	農地維持	資源向上		市町村数	活動組織数	農地維持	資源向上		市町村数	活動組織数	新規	完了	合併
				共同	長寿命化				共同	長寿命化					
空知	22	117	117	114	3	22	111	111	108	4		△ 6			△ 6
石狩	7	42	42	42		7	42	42	42						
後志	13	56	56	56	2	13	56	56	56	1					
胆振	8	33	33	31		8	32	32	30			△ 1		△ 1	
日高	5	15	15	7		5	16	16	7			1	1		
渡島	9	39	39	36	1	8	39	39	37	1	△ 1	1	△ 1		
檜山	6	33	33	27		6	33	33	27						
上川	21	109	109	105	2	21	108	108	104	1		△ 1		△ 1	
留萌	8	40	40	36		8	40	40	36						
宗谷	6	7	7	3		6	7	7	3						
林-ツ	18	42	42	41		18	42	42	41						
十勝	17	170	170	168		19	170	170	168		2	3	△ 3		
釧路	8	8	8	6		8	8	8	6						
根室	5	8	8	7		5	8	8	7						
計	153	719	719	679	8	154	712	712	672	7	1	△ 7	5	△ 6	△ 6

2 市町村の実施計画



3 交付対象農用地面積

- 対象農用地面積は795,161haで、令和5年度から11,608haの増加となる。
- 地域別では、新規及び区域拡大により、十勝及び胆振地域等で増加した一方、区域の見直しにより、空知及び宗谷地域等で減少となる。

地域	令和5年度実施見込み (A)				令和6年度計画 (B)				増減 (B-A)			
	交付対象農用地面積 (ha)				交付対象農用地面積 (ha)				交付対象農用地面積 (ha)			
	田	畑	草地		田	畑	草地		田	畑	草地	
空知	97,050	84,961	11,635	454	96,769	83,925	12,389	454	△ 281	△ 1,036	754	
石狩	28,472	20,544	7,336	592	28,425	19,681	8,232	512	△ 47	△ 863	896	△ 80
後志	17,993	6,813	10,369	811	17,859	6,812	10,290	757	△ 134	△ 1	△ 79	△ 54
胆振	21,000	8,196	9,950	2,855	21,710	8,396	10,359	2,955	710	200	409	100
日高	2,791	846	114	1,831	2,902	906	149	1,847	111	60	35	16
渡島	9,147	4,363	2,320	2,464	9,178	4,376	2,370	2,431	31	13	50	△ 33
檜山	4,133	3,508	451	173	4,280	3,653	453	173	147	145	2	
上川	98,822	44,331	44,431	10,060	98,814	44,332	44,571	9,910	△ 8	1	140	△ 150
留萌	19,216	4,969	2,106	12,141	19,222	4,941	2,140	12,141	6	△ 28	34	
宗谷	45,856		127	45,729	45,586		120	45,466	△ 270		△ 7	△ 263
林-ツ	143,630	2,638	99,999	40,994	143,567	2,638	99,895	41,034	△ 63		△ 104	40
十勝	154,627	15	119,243	35,369	165,924	15	121,463	44,446	11,297		2,220	9,077
釧路	37,350		1,792	35,558	37,362		1,799	35,563	12		7	5
根室	103,465		3,324	100,141	103,565		3,466	100,099	100		142	△ 42
計	783,553	181,185	313,197	289,172	795,161	179,675	317,696	297,790	11,608	△ 1,510	4,499	8,618

(ha以下四捨五入のため、合計と合致しない場合がある。)

4 交付金額

- 交付金額は、11,962百万円となり、令和5年度から3百万円増額となる。
- 農地維持は、取組面積の増加から21百万円増額となる。
- 資源向上（共同）は、取組面積の増加から3百万円の増額となる。また、資源向上（長寿命化）は、新たに1組織で取組を開始する予定だが、事業計画期間が終了したことにより2組織が減となり、3百万円の減額となる。
- 加算措置は、「多面的機能増進加算」の要望が増加した一方、「農村協働力深化加算」が廃止となったことにより、18百万円減額となる。

地域	令和5年度実施見込み（A）					令和6年度計画（B）					増減（B-A）				
	交付金額（百万円）					交付金額（百万円）					交付金額（百万円）				
	農地維持	資源向上				農地維持	資源向上				農地維持	資源向上			
	共同	加算	長寿命化		共同	加算	長寿命化		共同	加算	長寿命化		共同	加算	長寿命化
空知	3,530	2,071	1,261	176	22	3,480	2,055	1,249	156	21	△ 50	△ 16	△ 12	△ 20	△ 1
石狩	869	547	322			855	536	313	7		△ 14	△ 11	△ 9	7	
後志	405	261	134	9	1	403	261	133	8	1	△ 2		△ 1	△ 1	
胆振	457	292	155	10		470	301	160	10		13	9	5		
日高	30	23	7			32	25	7			2	2			
渡島	195	122	69	4	1	196	123	69	4	1	1	1			
檜山	141	85	51	5		144	89	50	5		3	4	△ 1		
上川	2,372	1,477	779	113	3	2,367	1,478	778	109	2	△ 5	1	△ 1	△ 4	△ 1
留萌	238	151	83	4		238	151	83	4						
宗谷	82	61	22			82	60	22				△ 1			
林-ツ	1,563	1,114	420	29		1,560	1,113	420	28		△ 3	△ 1		△ 1	
十勝	1,727	1,239	462	26		1,784	1,273	483	28		57	34	21	2	
釧路	99	64	34	1		99	64	34	1						
根室	250	163	87			252	165	87			2	2			
計	11,959	7,671	3,885	376	27	11,962	7,692	3,888	358	24	3	21	3	△ 18	△ 3

※加算措置増減内訳

(百万円以下四捨五入のため、合計と合致しない場合がある。)

加算措置名	R5			R6			増減		
	市町村数	活動組織数	交付金額(百万円)	市町村数	活動組織数	交付金額(百万円)	市町村数	活動組織数	交付金額(百万円)
多面的機能増進加算	44	179	254	47	191	264	3	12	10
農村協働力深化加算	6	39	29				△ 6	△ 39	△ 29
田んぼダム加算	18	68	93	19	68	93	1		
広域化加算	7	7	1	4	4	1	△ 3	△ 3	
計	75	293	376	70	264	358	△ 5	△ 29	△ 18

(百万円以下四捨五入のため、合計と合致しない場合がある。)

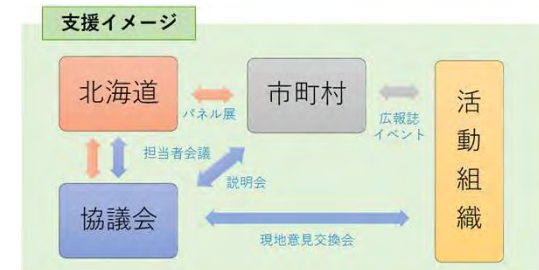
令和6年度 普及・推進活動実施計画（概要）

目的

農業の多面的機能の維持・発揮を図るため、地域共同による農用地、水路、農道等の**地域資源及び農村環境の保全活動並びに農業用排水路等の施設の長寿命化**のための活動の**推進に資すること**

R6 実施方針

- 未取組市町村や活動の広がりが見られない地域に入り制度概要等の説明や、一般の方へ広く本制度のPRを行い**普及**していく
- 積極的に地域へ入って各種説明会等を開催し、継続組織の取組の**推進**を図る



具体には

地域の課題

- 担い手の減少や高齢化が急速に進み、集落機能や農業・農村の多面的機能の低下が懸念
- 地域共同活動による農地農業用水等の**保全管理体制の脆弱化**
- 農村環境や地域住民の活動への**関心向上の促進が必要**
- **リーダーの不在や後継者の不足**
- 市町村や活動組織における**事務作業の負担の増大**

「多面的機能支払交付金」普及・推進活動の進め方

取組方針

普及活動

取組地域を拡大する
未取組地域に支援策を提案
一般の方へ制度PR

推進活動

保全管理体制制作りの推進
リーダーの育成・確保
道独自の取組を推進
事務支援システムの充実
環境保全活動の推進
関係団体による普及・啓発

具体的な対応

普及活動

個別説明会
日本型直接支払パネル展

推進活動

事務経理指導説明会
現地意見交換会
「とんぼの未来・北の里づくり」事例研究会
「とんぼの未来・北の里づくり」事例発表会
市町村実務担当者等会議（監査研修）
女性参画推進の取組
道独自の調査

その他

アライグマ捕獲技術研修会
「農業農村ふれあいフェスタ in 赤れんが」

地域資源及び農村環境の適切な保全管理へ

①普及活動

(1) 個別説明会

令和7年度以降に新規取組予定地区のある市町村等からの要請に基づき、本交付金で実施が可能な取組の内容や注意点について説明会を開催。

また、すでに取組を行っている組織に対しても地域拡大に向けた説明を行っていく。

- 開催期間 令和6年4月～令和7年3月
- 参集範囲 市町村、土地改良区、JA、農業者

(2) 日本型直接支払パネル展

農村振興パネル展に出展し、多面的機能支払制度をPR。

- 開催日 令和6年7月（予定）
- 会場 道庁本庁舎1階 道民ホール
- 内容 ・PRパネルやDVDの上映による取組事例の紹介
・パンフレット等の配布
- 対象者 一般の方

②推進活動

(1) 事務経理指導説明会

総会の実施状況や会計経理証拠書類の整理状況等、本交付金の執行状況を確認するとともに、必要な指導・助言を活動組織等に行うため開催。

- 開催期間 令和6年4月～令和7年3月
- 開催箇所 会計検査や農水省の抽出検査などを踏まえ、関係市町村を対象に開催
- 参集範囲 活動組織の役員、市町村の担当職員、土地改良区、JA 等

(2) 現地意見交換会

開催を希望する市町村及び活動組織等を対象として、活動組織から課題や疑問点を聞き取り、指導・助言を行うための意見交換会を開催。

- 開催期間 令和6年4月～令和7年3月
- 参集範囲 活動組織の役員、市町村、土地改良区、JA 等

(3) 「とんぼの未来・北の里づくり」事例研究会

多面的機能支払事業における効果的な活動事例などの情報収集を行い、各地域の状況に応じた更なる活動の充実・発展を図るために、事例内容について検討を行い、発信等を行う。

- 事例研究会の開催 (2回)
- 先進地視察研修の実施 (1回)
- 草地分科会の開催 (1回)

(4) 「とんぼの未来・北の里づくり」事例発表会

地域の共同活動による地域資源や農村環境の保全管理に取り組む活動組織に対して、地域の特性を生かした効果の高い活動事例の普及・推進を図ることを目的とした全道事例発表会を開催。

- 開催時期 令和7年2月
- 開催箇所 札幌市内
- 参集範囲 活動組織の役員等、市町村の担当職員、土地改良区、JA 等

(5) 市町村実務担当者等会議

多面的機能支払交付金制度、実施要綱・要領及び道要綱基本方針の改正内容、本交付金に係る留意事項、実施状況報告等に係る留意事項等の説明及び監査研修を、活動組織の役員、市町村等の担当者に行うため会議を開催。

- 開催期間 令和6年7月～8月(予定)
- 開催箇所 ブロック別に開催
- 参集範囲 活動組織、市町村の担当者、活動組織の事務経理を受託している土地改良区、JA等の担当者

(6) 女性参画推進の取組

農家戸数の減少や高齢化が進行する中で活動を継続するためには、農業者だけでなく多様な人材の参画の推進が必要であるが、特に女性の参画を推進するための取組を行う。

- 開催時期
 - 開催場所
 - 内 容
- } (5) 市町村実務担当者等会議と同日に開催予定
- 女性の役員や活動参加者との意見交換、女性が取り組みやすい活動などの事例収集 他

(7) 道独自の調査

国が実施する抽出検査とは別に、道独自の調査を実施することにより、牽制機能を強化するとともに不正事案の未然防止について指導を徹底する。

- 開催期間 令和6年7月～令和7年2月
- 開催箇所 農水省の抽出検査などを踏まえ、道内15市町村、15組織を抽出して実施予定
- 調査方法 国の抽出検査に準ずる
- 参集範囲 活動組織の役員等、市町村の担当職員、土地改良区、J A 等

③他団体主催の研修会等への参加

(1) アライグマ捕獲技術研修会

各(総合)振興局環境生活課が主催する「アライグマ捕獲技術等研修会」へ、多面的機能支払交付金を活用したアライグマ対策等について情報提供を行うため参加。なお、各活動組織には市町村を通じて本研修会の開催を案内。

- 開催期間
 - 開催場所
 - 参集範囲
- } 開催時期等については主催者と調整
- 市町村、活動組織 等

(2) 「農業農村ふれあいフェスタin赤れんが」

道協議会のブースを設置して、来場者へ多面的機能支払制度をPR。

- 開催日 令和6年10月(予定)
- 会場 道庁赤れんが庁舎前
- 内容
 - ・パネルによる本交付金の概要と取組事例の紹介
 - ・パンフレット等の配布
 - ・とんぼビーズづくり
- 対象者 一般の方

4. 今後のスケジュールについて

令和6年度検討会開催予定

第1回検討会

- (1)開催時期
令和6年6～7月頃
- (2)主な議題
 - ・令和5年度実績
 - ・令和6年度実施計画

第2回検討会

- (1)開催時期
令和6年9～11月頃
- (2)主な議題
 - ・現地調査、意見交換

第3回検討会

- (1)開催時期
令和7年2～3月頃
- (2)主な議題
 - ・現地調査報告
 - ・令和6年度実施状況
 - ・令和7年度実施計画

※検討会の現地調査について、令和6年度は実施する方向で進める。

70-1 日本型直接支払のうち 多面的機能支払交付金

【令和6年度予算概算決定額 48,589 (48,652) 百万円】

<対策のポイント>

地域共同で行う、多面的機能を支える活動や、地域資源（農地、水路、農道等）の質的向上を図る活動を支援します。

<事業目標>

- 農地・農業用水等の保安全管理に係る地域の共同活動への多様な人材の参画率の向上（5割以上〔令和7年度まで〕）
- 農地・農業用水等の保安全管理に係る地域の共同活動により広域的に保安全管理される農地面積の割合の向上（6割以上〔令和7年度まで〕）

<事業の内容>

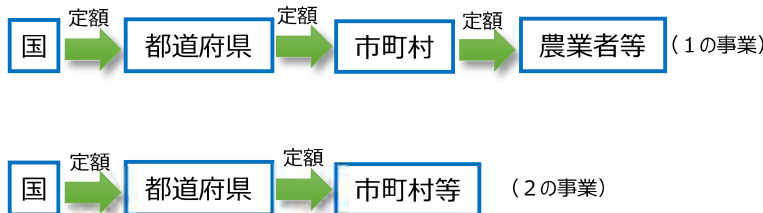
1. 多面的機能支払交付金 47,050 (47,050) 百万円

- ① 農地維持支払
地域資源の基礎的保全活動等の多面的機能を支える共同活動を支援します。
- ② 資源向上支払
地域資源の質的向上を図る共同活動、施設の長寿命化のための活動を支援します。

2. 多面的機能支払推進交付金 1,539 (1,602) 百万円

交付金の適正かつ円滑な実施に向けて、都道府県、市町村等による多面的機能支払交付金の推進を支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

農地維持支払

- ・農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持 等
- ・農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化、地域資源の保安全管理に関する構想の策定 等



農地法面の草刈り



水路の泥上げ



農道の路面維持

資源向上支払

- ・水路、農道、ため池の軽微な補修、景観形成や生態系保全などの農村環境保全活動 等
- ・老朽化が進む水路、農道などの長寿命化のための補修 等



水路のひび割れ補修



農道の窪みの補修



ため池の外來種駆除

実施主体：農業者等で構成される組織（①及び②は農業者のみで構成する組織でも取組可能）
対象農用地：農振農用地及び多面的機能の発揮の観点から都道府県知事が定める農用地

【交付単価】 (円/10a)

	都道府県			北海道		
	①農地維持支払	②資源向上支払 (共同) ※1	③資源向上支払 (長寿命化) ※1,2,3	①農地維持支払	②資源向上支払 (共同) ※1	③資源向上支払 (長寿命化) ※1,2,3
田	3,000	2,400	4,400	2,300	1,920	3,400
畑	2,000	1,440	2,000	1,000	480	600
草地	250	240	400	130	120	400

[5年間以上実施した地区は、②に75%単価を適用]

- ※1：②、③の資源向上支払は、①の農地維持支払と併せて取り組むことが必要
- ※2：①、②と併せて③の長寿命化に取り組む場合は、②に75%単価を適用
- ※3：③の長寿命化において、直営施工を行わない等の場合は、5/6単価を適用

【加算措置】 (円/10a)

項目	説明	都道府県		北海道	
		田	畑	田	畑
多面的機能の更なる増進	多面的機能の増進を図る活動の取組数新たに1つ以上増加させる場合等	400	240	320	80
水田の雨水貯留機能の強化（田んぼダム）の推進	資源向上支払（共同）の交付を受ける田面積の1/2以上で取り組む場合	400		400	320

【お問い合わせ先】 農村振興局農地資源課 (03-6744-2197)